

挨拶のあふれる町、大和町

「おはようございます。」 「ただ今帰りました。」

そんな私たちの挨拶に、笑顔で「おはよう」「お帰り」と言ってくださる地域の皆さん。そんな優しさにあふれ、豊かな自然に囲まれた大和町が、十五年間過ごしてきた私の町です。私は温かい大和町が大好きです。

私がこの三月に卒業した大和中学校では、挨拶に力を入れています。私が小学生のとき、挨拶運動で小学校に来ていた大和中学校の先輩方が、挨拶のお手本を見せてくださいました。立ち止まり、相手を見て、大きな声で、自分から。そのとき、先輩方の挨拶はすごいと思いました。

中学校に入學してからは、自分もそんな挨拶をしたいと思い、意識して実行しました。上級生になると、この挨拶を後輩につなぎたいという思いから、生徒会執行部に入りました。私が小学生のときに見せてもらったお手本を、今度は私が教える番になりました。私がそうだったように、これからも大和中学校の伝統を受け継いでいってほしいと思いながら、新入生オリエンテーションや部活動などの場でお手本を示しました。

あるとき 学校からの帰り道で近所の方に「ただ今帰りました」と言う
うと、「お帰り」と返していただ
いた後に、「いつもいい挨拶をし
てくれるね」と言っていただき
ました。そのとき、私も大和中
学校の伝統である挨拶を受け継
いでいると実感し、うれしくな
りました。



私は、普段当たり前のよう
にしている挨拶は、誰かを笑顔に
する力をもっていると思ってい
ます。これからも、そんな笑顔
であふれる大和町を、そこに住
むみんなの挨拶で満たしてい
きたいです。



わがまちに望む夢

東の未来を担う子ども達の声を紹介します
— 連載第41回 —

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します
— 連載第41回 —

ふれあい奉仕活動で感じたこと

私の通う宮浦中学校では、地区の清掃を通して地域の方と交流を深める「ふれあい奉仕活動」があります。その活動を通して感じたことが二つあります。一つ目はコミュニケーションが大切だということです。地域の方とは普段あいさつをするくらいで、なかなか話をする機会がありませんでした。はじめはあまり話せませんでした。が、活動が進むにつれ、自然と会話が出きるようになりました。また、コミュニケーションをとることで「活動が楽しい」と感じるようになり、交流も深めることができました。来年は自分からもつと話したいと思うようになりました。

二つ目は、地域をきれいにすることが大切だということです。やる前は、そんなにごみなんて落ちていないだろうと思っていたが、注意して見てみると、たばこの吸い殻や空き缶、ペットボトルなどが無造作に捨てられていることに気付きました。

普段何気なく通っていることに改めて気づかされました。地域の方と協力しながらごみを拾い、きれいになつていく様子をみて、喜びを感じるとともに、普段から街をきれいにしていくことを心掛けていきたいと感じました。



私はふれあい奉仕活動を通して、小学校や高校生も含め、地域の方とともに手を取り合って、きれいな三原市の町づくりを実現していきたいと思いました。

